

祭事のご案内

靖國神社では年間を通じて様々な祭事が執り行われますが、その中で最も重要な祭事は春秋に斎行される「例大祭」です。

また、7月13日から16日にかけて行われる「みたま祭」は、東京の夏の風物詩として広く知られており、境内には3万灯を超える奉納提灯や雪洞が掲げられ、多くの参拝者で賑わいます。

祭事暦	1月 1日	新年祭	7月13日	みたま祭
	2月11日	建國記念祭	～16日	～16日
	2月17日	祈年祭	10月17日	秋季例大祭
	2月23日	天皇御誕辰奉祝祭	～19日	～19日
	4月21日	春季例大祭	11月 3日	明治祭
	～23日	～23日	11月23日	新嘗祭
	4月29日	昭和祭	12月25日	煤拂祭
	6月29日	御創立記念日祭	12月31日	除夜祭・大祓式
	6月30日	大祓式		

毎月 1日・11日・21日 月次祭 / 毎日 朝御饗祭・夕御饗祭・永代神楽祭



例大祭

みたま祭

正式参拝・祈願参拝のご案内

心静かに神霊を偲ぶ本殿内での参拝(正式参拝)や祈願参拝をご希望の方は、参集殿受付(境内図 Ⅲ)まで、お申し出ください。

受付時間	8:30 ~ 16:30 (3月~10月)
	8:30 ~ 16:00 (11月~2月)
※正月、春秋の例大祭、みたま祭の期間中などは時間が異なります。	

内苑開門時刻	通年…………… 午前6時
内苑閉門時刻	1、2、11、12月…………… 午後5時 3月~10月…………… 午後6時

永代神楽祭のご案内

「永代神楽祭」は、神霊のご命日など縁ある日に神楽を奉奏し、永代に亘って神霊をお慰める祭典です。
祭典では、ご遺族が本殿に参列する中、神霊の御名前が奏上され、仕女が神楽舞を奉仕します。
(祭資料 一件 10万円以上)

交通のご案内

J R	●中央・総武線各駅停車…「飯田橋駅」「市ヶ谷駅」から各徒歩約10分
地下鉄	●東西線・半蔵門線・新宿線……………「九段下駅」から徒歩約5分
	●東西線・南北線・有楽町線・大江戸線…「飯田橋駅」から徒歩約10分
	●南北線・有楽町線・新宿線……………「市ヶ谷駅」から徒歩約10分

※お車で越しの方…………… 参拝者駐車場の入口は、靖国通り沿いにあります。

靖國神社

〒102-8246 東京都千代田区九段北3-1-1
電話03-3261-8326 FAX03-3261-0081



参拝のしおり

靖國神社公式ホームページ
<https://www.yasukuni.or.jp/>



やすくにじんじや



靖國神社

由緒

靖國神社の起源は、明治二年（一八六九）六月二十九日に建てられた「招魂社」に遡ります。当時の日本は、近代国家として大きく生まれ変わろうとする歴史的大変革(明治維新)の過程にあり、そうした大変革は一方において国内に避けることのできない不幸な戦い(戊辰の役)を生み、近代国家建設のために尽力した多くの同志の尊い命が失われる結果となりました。



明治17年頃の社頭風景

そこで明治天皇は、国家のために一命を捧げられたこれら人々の霊を慰め、その事績を後世に伝えようと、東京九段のこの地に招魂社を創建されたのです。招魂社はその後、明治十二年（一八七九）六月四日に「靖國神社」と改称されて、現在に至っています。

創建の理念

靖國神社創建の目的は、明治七年（一八七四）一月二十七日、明治天皇が初めて招魂社に幸幸の折、お詠みになられた我國の為をつくせる人々の名もむさし野にとむる玉かきの御製からも知られるように、世の平安を願う国家のために一命を捧げられた人々の霊を慰め、その事績を後世に伝えることにあります。

明治天皇が命名された「靖

御祭神

靖國神社には、幕末の嘉永六年（一八五三）以降、明治維新、戊辰の役、西南の役、日清戦争、日露戦争、満洲事変、支那事変、大東亜戦争(第二次世界大戦)などの対外事変や戦争に際して、ひたすら「国安かれの一念のもと、国を守るために尊い生命を捧げられた二百四十六万六千余柱の方々の神霊が、身分や勲功、男女の別なく、すべて祖国に殉じられた尊い神霊(靖國の大神)」とし

て齊しくお祀りされています。その中には軍人ばかりでなく、明治維新のさきがけとなつて斃れた坂本龍馬・吉田松陰・高杉晋作・橋本左内といった歴史的に著名な幕末の志士達をはじめ、戦場で救護のために活躍した従軍看護婦や女学生、勤労働員中に軍需工場で亡くなられた学徒などの軍属、文官、民間の方々も数多く含まれています。また、その当時日本として戦い亡くなられた

台湾及び朝鮮半島出身者やシベリア抑留中に死亡した軍人・軍属、大東亜戦争終結時にいわゆる戦争犯罪人として処刑された方々も同様に祀られています。このように多種多様な方々の神霊が、祖国に殉じられた尊い神霊として一律平等に祀られているのは、靖國神社創建の目的が、「国家のために一命を捧げられたこれら人々の霊を慰め、その事績を後世に伝える」ことにあるからです。

今月の遺書

靖國神社では、多くの方々に、祖国のために斃られた英霊のみこころに触れていただきたいと、英霊の遺書や書簡を毎月、社頭に掲示しています。



書や書簡は、『英霊の言葉』という書籍に纏めて随時刊行、頒布しています。



さくら陶板

「さくら陶板」は国の礎となられた御祭神が往時歩まれたであろう故郷の土などを用い、日本が誇る伝統的文化である陶磁器焼成の技術により、神社の象徴ともいえる桜をモチーフにした「陶板」を各都道府県の著名な陶工たちにより制作・奉納されたものです。まこころを込め、伝統の技によりつくられた陶板一枚一枚が、慰霊の心とその継承を表現します。

令和元年（二〇一九）御創立百五十年にあたり、本殿にてご参拝いただくための「みちしるべ」

とすべく、記念事業の一つとして整備された「慰霊の庭」に設置されました。各陶板の台座には、靖國神社と同じく、国の礎となられた御当地出身の神霊をお祀りする各地の護國神社名・御鎮座地を記しています。皆様には「御祭神の御遺徳」に触れていただき、それぞれの陶板に導かれ各護國神社へもお参りいただきたく存じます。併せて、「遺族の心」を未来へつなぐべく奉慰顕彰に努められている各都道府県遺族会の名称も記しています。



境内図 38



外苑休憩所



SAKURA 外苑直営ショップ
(記念品・お土産)
営業時間 / 9:00~16:30

桜の名所「靖國神社」ならではの、「桜」をコンセプトにした商品や、神社オリジナルのグッズ、お菓子などを販売する靖國神社直営のセレクトショップです。



靖國八千代食堂(喫茶・軽食)
営業時間 / 10:00~17:00

鹿児島 知覧の富屋食堂で特攻の母と慕われた鳥濱トメさんの玉子丼を再現、会津のお米やお蕎麦、オリジナル和菓子のほか、抹茶・コーヒー・アルコール類の飲み物もご用意しております。



attic room YASUKUNI-GAIEN
/ cafe & dining
アティックルーム靖國外苑 (喫茶・軽食)
営業時間 / 10:00~17:00

古き良き時代の“喫茶”を彷彿とさせる、昭和の洋館を訪れた様な落ち着いた店内で、週替わりのランチメニューや各種コーヒー・紅茶・アルコール類をご用意しております。



境内図 39

靖國神社
メールマガジン

靖國神社公認
Instagram

オンラインによるお申し込みのご案内

御祈願

授与品・頒布品

境内のご案内



本殿
ほんでん

本殿は246万6千余柱の神霊が鎮まるところで、明治5年(1872)に建てられました。昭和61年(1986)から3年をかけて屋根を中心とした修築が施され、平成元年(1989)に竣成しました。

霊簿奉安殿

れいびょう ほうあんでん

本殿の後ろにある霊簿奉安殿は、昭和47年(1972)に建てられました。御霊を合祀する際に用いる霊聖簿を納めるための建物で、和紙で作られた霊聖簿には、合祀される御霊のお名前が記されています。



拝殿
はいでん

拝殿は明治34年(1901)に建てられました。通常はこの場所で参拝します。

中門鳥居

ちゅうもんとりい

拝殿前の中門鳥居は平成18年(2006)に建て替えられたもので、埼玉県産の檜(ひのき)が用いられています。

元宮

もとみや

明治維新のさがけとなつて贅れた志士の霊を祀るため、同士によって京都に建てられたもので、昭和6年(1931)、靖國神社に奉納、移築されました。国を守るために尊い生命を捧げられた方々の神霊を祀る靖國神社の前身となったことから、「元宮」と呼ばれています。

鎮霊社

ちんれいしゃ

戦争や事変で亡くなられ、靖國神社に合祀されない国内、及び諸外国の人々を慰霊するため、昭和40年(1965)に建てられました。

南門

みなみもん

斎館・社務所

さいかん・しゃむしょ



大手水舎
おおてみずしゃ

昭和15年(1940)、アメリカに在住する日本人の方々から奉納されました。この手水盤は花崗岩で作られており、重さは18トン以上あります。お参りする前には、ここで手と口をすすぎ身を清めます。



神門
しんもん

神門は昭和9年(1934)に建てられたもので、中央の2つの扉には、直径1.5メートルの菊花の御紋章が取り付けられています。

第二鳥居

だいにとりい

明治20年(1887)に建てられた第二鳥居は、青銅製の鳥居としては日本一の大きさを誇ります。



能楽堂
のうがくどう

この能楽堂は明治14年(1881)に東京・芝公園に建てられたもので、明治36年(1903)、靖國神社に奉納、移築されました。この舞台では神霊にご覧いただくための能や日本舞踊などの芸能が行われます。



参集殿
さんしゅうでん

平成16年(2004)に建て替えられたもので、個人や団体で正式参拝する方々のための受付や控え室・朱印所などがあります。

到着殿

とうちゃくでん



神池庭園
しんちていえん

この庭園は明治の初めに造られたもので、平成11年(1999)の復元工事により全国有数の名園であることがわかりました。回遊式の庭園は、深い山の中を思わせる滝石組みが一番の見所です。花崗岩の直橋は日本一の長さを誇ります。



洗心亭
せんしんてい

靖泉亭は昭和33年(1958)、洗心亭は昭和36年(1961)にそれぞれ建てられた茶室です。両茶室とも平成12年(2000)から平成13年(2001)にかけて修復工事が施されました。

行雲亭

こううんてい

月曜日から土曜日まで、裏千家淡交会東京支部役員の先生方による茶道教室が開かれています。

※入会を希望される方は、靖國神社社務所(裏千家茶道教室係)までお問い合わせください。

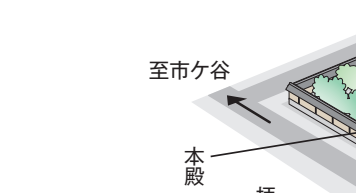
招魂斎庭

しょうこんさいてい



靖國教場 啓照館
やすくにきょうじょう けいしょうかん

昭和13年(1938)、相撲場脇に力士控室である支度部屋が建てられましたが、老朽化が進んでいました。その為、従来の支度部屋としての役割に加え、崇敬者を対象とした研修・講演等多目的な利用に対応できるよう、平成22年(2010)に改築されました。



白鳩鳩舎
しろはと きゅうしゃ

白鳩は1万羽に1羽という真っ白な鳩で、約300羽の白鳩がこの鳩舎で飼育されています。

大村益次郎銅像

おおむらますじろう どうぞう

近代日本陸軍の創設者で靖國神社の創建に尽力した大村益次郎の銅像は、明治26年(1893)に建てられ、平成30年(2018)に美装工事が施されました。

第一鳥居(大鳥居)

だいいちとりい(おおとりい)

大正10年(1921)、日本一の大鳥居として誕生した第一鳥居は、「空をつくよな大鳥居」と歌われて親しまれていましたが、長年の風雨で損傷がはげしくなり、昭和18年(1943)に撤去されました。現在の第一鳥居は戦友たちの奉納により昭和49年(1974)に再建され、平成30年(2018)に美装工事が施されました。高さは25mあります。



相撲場
すもうじょう

明治2年(1869)、靖國神社の鎮座祭に際して大相撲が奉納されて以来、例大祭を奉祝して、横綱をはじめとする力士による奉納相撲が執り行われます。当日の相撲場は大勢の見物客で賑わいます。(無料)



至市ケ谷

本殿

拝殿

朱印所

神門

至半蔵門

外苑西詰所

駐車場入口

外苑南詰所

至九段下

慰霊の庭

大村益次郎銅像

中央広場

第一鳥居(大鳥居)

中央広場

慰霊の庭

大村益次郎銅像

中央広場

靖国会館

やすくに かいかん

靖國偕行文庫

やすくに かいこうぶんこ

平成11年(1999)に開館したこの図書館には、靖國神社の御祭神に関する資料や日本近代史研究のための資料約14万冊が収蔵され、閲覧することができます。

参拝者休憩所

さんばいしゃ きゅうけいじょ

トイレ・自動販売機・喫煙所が設置されています。御創立150年記念事業の一つとして新築され、平成28年(2016)に竣工しました。

母の像

ははのぞう

この像は、苦難と孤独に耐えながら子供を育て上げた戦争未亡人への敬意と感謝を込めて、昭和49年(1974)に建てられました。立派に成長した子供(遺児)たちにより「お母さん、ありがとう」の気持ちを込めて奉納されました。



パール博士顕彰碑

ぱーるはかせ けんしょうひ

極東国際軍事裁判(通称東京裁判)でインド代表判事を務め、裁判官の中でただ一人、被告団全員を無罪とする意見書を提出したラダ・ビノード・パール博士の功績を伝えるため、平成17年(2005)に建てられました。



戦没馬慰霊像・鳩魂塔・軍犬慰霊像

せんぼつば いれいぞう・きゅうこんとう・ぐんけん いれいぞう

戦没馬慰霊像は、実物大の軍馬の銅像で、戦場で斃れた馬の霊を慰めるため昭和33年(1958)に奉納されました。「鳩と地球儀」と題した鳩魂塔は、誠実な伝令として戦場で活躍した伝書鳩の霊を慰めるため昭和57年(1982)に奉納されたものです。軍犬慰霊像は兵士たちにとって最愛の仲間であったジャーマン・シェパードの銅像で、平成4年(1992)に奉納されました。

北門

きたもん

靖國の桜

やすくにの さくら

靖國の桜は、靖國神社が招魂社として創建された翌年の明治3年(1870)、九段のこの地に初めて植えられた桜が始まりといわれています。日本を象徴する桜は、靖國神社の御祭神にとって誇りの象徴でもありました。現在、靖國神社の境内には約500本の桜があり、その多くはソメイヨシノや山桜の品種です。毎年、東京管区気象台が靖國神社にある標本木(ソメイヨシノ)を調べて開花を発表します。

遊就館

ゆうしゅうかん

遊就館には、靖國神社に鎮まる英霊の遺書や遺品をはじめ、英霊のまごころやその事蹟を今に伝える貴重な史・資料が展示されています。明治15年(1882)に開館した遊就館の館名「遊就」は、高潔な人物に交わり学ぶという意味で、10万点に及ぶ収蔵品の中には、絵画や美術品、武具甲冑、武器類なども数多く含まれています。



境内図 28



○開館時間 9:00～16:30
※入館は開館の30分前まで
※正月・みたま祭期間中は開館時間が異なります。
○休館日 年中無休(6月末・12月末 臨時休館あり)
○拝観料 大人：1,000円 大学生：500円
高校・中学生：300円 小学生以下：無料
○拝観所要時間 1時間～3時間

売店

参拝の記念品や関連書籍を取り揃えています。

茶寮「結(ゆい)」

遊就館1階玄関ホール側の茶寮「結」では、喫茶はもちろん海軍割烹術のレシピから忠実に再現した「海軍カレー」など、遊就館限定メニューの軽食も楽しめます。

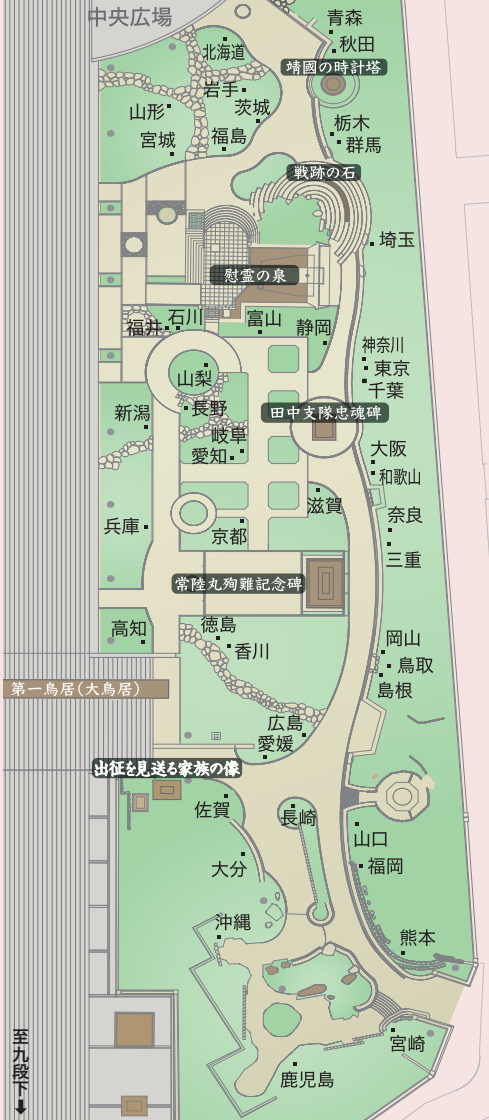
さくら陶板

さくらとうばん

令和元年(2019)、御創立百五十年記念事業の一つとして整備された「慰霊の庭」に設置されました。御祭神にゆかりのある各都道府県の土などを用いて、現地の陶工たちにより制作・奉納されたものです。



さくら陶板マップ



●半日コース 第一鳥居(大鳥居) [境内図 32] → 慰霊の庭(さくら 陶板) [境内図 38] → 参集殿(正式参拝) [境内図 18] → 神池庭園 [境内図 15] → 遊就館 [境内図 28] → 外苑休憩所 [境内図 39]
●90分コース 第一鳥居(大鳥居) [境内図 32] → 慰霊の庭(さくら 陶板) [境内図 38] → 参集殿(正式参拝) [境内図 18] → 外苑休憩所 [境内図 39]